

## 令和6年度 健康づくり推進協議会 議事録

日時 令和6年11月20日 13時30分~15時

場所 グリーンパレス 千歳・芙蓉

### 1. 開会

#### 2. <部長あいさつ>

今日は、お集まりいただいている関係機関の皆様と議論し、意見交換させていただきながら、緊密な関係を図っていきたい。

今の区の健康面での課題が何かを共有させていただくことが大事であり、話し合いをする中で、総合的に地域の健康づくりを進めてまいりたい。

健康づくり推進協議会は、区で進めている健康施策などを定期的にモニタリングする、確認をしていただくというのが一つの大きな役目であり、位置づけとして大切だと思っている。

今回も、講評をしていただく学識経験者の千葉大学の佐藤先生にご参加いただいている。いろいろな角度からご指導、ご助言をいただきたい。

### 3. 委員紹介

<司会：地域保健課長>

役員改選や人事異動に伴う変更により、今回より、ご参加いただくこととなられた委員をご紹介します。

江戸川区医師会副会長及び公衆衛生担当理事の菅野公司様は、急患対応のためご欠席。  
江戸川労働基準監督署副署長の森健一郎様。

江戸川区医師会の役員改選に伴い、今期の健康づくり推進協議会の会長 中川陽之先生が退任されたので、健康づくり推進協議会の会長を互選にて決めたい。どなたかご推薦ございますか。

<委員（歯科医師会）>

前任が江戸川区医師会の中川先生でしたので、今回も医師会の菅野先生をご推薦したい。

<司会>

本日は、菅野先生がご欠席のところであるが、皆様の拍手を持って決定したい。

（一同拍手）

満場一致で会長が決まりましたが、会長ご欠席のため、副会長の根本先生に議事進行をお願いします。

## 4. 協議事項

### 「健康増進計画」進捗状況報告

健康増進計画は令和5(2023)年度から令和12(2030)年度までの8か年の計画。健康増進計画では11分野96指標を設定している。1年経過した現在の指標の達成状況をお示しする。

全体では改善が35指標、悪化が24指標。

実施状況は、計画の各分野に関連する健康増進事業を整理した。生活習慣病・栄養・高齢者に関連する事業が多く、社会参加・地域のつながりに関連する事業は12事業と少ない。

分野別の状況については、【資料1】を参照。

計画の推進主体は区民、医療関係機関、事業者保険者、区の4者を示している。

区民の取組を推進するため、千葉大学の佐藤先生にも協力をいただき、健康コラムを広報えどがわに掲載(【資料2】参照)。1つは妊娠前の健康管理(プレコンセプションケア)について、2つ目は健康と社会とのつながりということで健康になれるまちづくりをテーマとした。

事業者と連携した取り組みとして、明治安田生命保険相互会社と協定を締結。情報発信やイベントでの健康測定などで協力をいただいた。

### 健康づくりの取り組みについて(各団体から)

#### 委員(歯科医師会)

各歯科健診の推進、かかりつけ医の推進を、行政にバックアップしてもらい取り組んでいる。

受診勧奨をしていただいたことで、現場の感覚として、健診の受診者数がかかなり増えている。

歯科健診をはじめとしたお口の健康づくりを通して、区民の皆さんの全身の健康を推進していきたい。

#### 委員(医師会：学校保健委員会)

医師会としては、毎年、区民健診を行っている。船堀の医療検査センターで各健(検)診を行い、その結果を踏まえて、希望者にはデータの説明等を行い、区民の健康に関してアドバイスをしている。

学校保健の担当としては、子どもたちの健診を行っている。毎年、小・中学生の中で一定の肥満度を超えるお子さんたちの血液・尿・血圧等を測定して、データをご家族と本人にフィードバックしている。そのデータを見ると、かなり小さい頃から、いろいろな異常が認められている。これをなるべく早めに改善していただいて、生活習慣病が、今後、成長していく中で悪くならないようにアドバイスを行っている。

### 委員（学校歯科医会）

学校歯科保健では、歯肉炎とむし歯の予防について取り組んでいる。これには歯みがきが基本であり、区で歯ブラシを毎月1本ずつ全小学校の児童に配付している。これが子ども達の基本的な歯科保健行動につながっているので、大変ありがたい。むし歯予防に関しては、フッ化物洗口が今年度よりスタートしている。大きな効果が出てくるのを楽しみにしている。永久歯のむし歯予防というところにターゲットを置いているので、結果は6年後には出てくると思う。

健診に関しては、歯科医師会・学校歯科医会として、健診基準の統一化に取り組み、正しいデータが出るように取り組んでいる。

歯肉炎の予防については、中学校の頃から歯肉炎が出てくるケースが多いので、健口歯ブラシ事業の中で、フロスの使い方を学校歯科医会が伝えている。また、歯肉炎の改善にも、つながると思う。

### 委員（薬剤師会）

区立の小・中学校の児童生徒の健康や環境について、今後も取り組んでいく。詳細は、次の、学校担当の学校保健委員会委員長より報告させていただく。

### 委員（薬剤師会：学校保健）

学校薬剤師が学校環境衛生基準に基づき環境衛生検査を実施している。

薬物乱用防止教室、薬の使い方教室を学校の状況に応じて実施している。薬物・医薬品に関すること、オーバードーズに関すること、それ以外にも、食・運動・睡眠の健康三原則についても子ども達と教職員の方にもお話をしている。

薬剤師会の取り組みとしては、健康サポート薬局が13薬局あり、健康の保持増進を支援する講演会等を実施している。

区民まつり等のイベントでベジメーターを使用して野菜摂取量の測定を行った。

### 委員（ファミリーヘルス推進員）

地域ミニデイは、コロナ以前より参加者が減っている。健康部と一緒に、地域の活動に参加できるようなことを進めていこうと思っている。

地域の健康講座を開催しながら、少しずつ勉強していきたい。

### 委員（食品衛生協会）

安全と安心な食を提供するために、食品衛生管理の指導、食の事故防止のために活動している。

食はとても大事なので、皆様と力を合わせて、食の安全と安心につなげていきたい。

## 委員（労働基準監督署）

労働安全衛生法に基づいて、健康診断を行い、その受診率の向上に努めている。

メンタルヘルス対策、長時間労働、過重労働、パワハラ等、いろいろ複合的な要因により職場内で精神疾患を発症される労働者が非常に増えている。そのため、メンタルヘルス対策は、引き続き、特に力を入れて取り組んでいる。

## 委員（労働基準協会）

江戸川労働基準監督署の協力団体で、労働行政の推進のお手伝いをさせていただいている。

協会内に「江戸川健康づくり研究会」という専門部会を設けており、そこで地域の事業者や働く皆さんの健康保持推進のため、情報提供のための講演会やセミナー等の活動を毎年2回実施している。

一つは、毎年10月、厚生労働省が実施する「全国労働衛生週間」があり、その説明会を労働基準監督署が主催し、私共の協会が共催している。その説明会の中で、健康に関する特別講演を研究会で企画している。今年は、区健康部の方にも参加させていただいて計画し、テーマを「睡眠」にした。

もう一回は、来年2月に健康セミナーを企画している。

いずれも、区との連携は欠かせない。

最近では転倒災害が多い。高齢化に伴い、予防対策で各事業所の皆さんに意識付けをしていただくような具体的な対策に今後取り組んでいきたい。

## 5. 報告事項

### (1) 生き生きけんこう塾の経過について

【資料3】に基づいて説明。

令和3年度から開始している高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業「生き生きけんこう塾」について、3年間の実施経過と結果について報告する。

目的は、介護予防と生活習慣病等の疾病予防・重症化予防につながる講座を開催することで、医療専門職等が高齢者の健康・運動機能の状態を把握し、地域交流の促進と高齢者の健康増進を図ること。

区内を15圏域に分け、各圏域で1会場ずつ、全15会場で実施している。

けん玉を含む運動・栄養・口腔の講義と実技のプログラムや実施状況を、写真を交えて説明する。

実施後のアンケートでは、「運動」「栄養」「口腔」の取り組みは、「毎日している」「時々している」を合わせて9割以上の人に取り組んでいた。「けん玉」に取り組んでいる人は約7割だった。参加しての効果（生活や体の変化）は98%の人が「大変あった」「あった」と回答した。具体的には、「いろいろな知識が身についた（74%）」「バランスよく食べるようになった（63%）」「体調が良くなったような気がする（53%）」「日常生活にハリができた（51%）」などの回答があった。

## (2) 快適睡眠の取り組みについて

【資料4】に基づいて説明。

令和3年度から快適睡眠について取り組みを開始した。

「知る」「考える」「気づく」「行動する」「継続する」と年度ごとに目標を設定し取り組んできた。

コロナの影響もあり、区の職員から区民、児童生徒、企業と対象を広げていき、啓発の方法も様々な角度から実施した。

快適睡眠フェアは、令和7年3月19・20日、両日タワーホール船堀で実施予定。3年目を迎える今年度で終了。今後の快適睡眠の情報については、区のホームページの「睡眠と健康」で確認していただく。

労働基準監督署と連携し、労働衛生週間説明会で睡眠セミナーを開催し、区内の労働者の快適睡眠を実現する取り組みを紹介した。今後も健康づくりについて連携していく。

## (3) 歯科保健施策の今年度の取り組みと進捗状況について

【資料5】に基づいて説明。

今年度、区として「年に一度は歯科健診 かかりつけ歯科医を持とう！」をスローガンに掲げて取り組んでいる。

歯科口腔保健法に基づく歯・口腔の健康づくりプラン(令和5年改正)に、誰一人取り残さないための基盤整備や、各種サービスの有機的な連携の必要性が明記され、歯と口の健康は、質の高い生活を営む上で重要であることが示されている。区は、歯科疾患がある区民の割合が高いことを課題と捉え、まずは、歯科へ行くことが困難な状況を解消するために、公的な歯科健診については訪問や移動支援により受診を可能にした。また、障害児者の通所施設における口腔ケア体制事業として、支援員の研修や、民間施設での健診実施を拡充した。

乳幼児を対象とした取り組みとしては、「子どもの歯と口の健康づくり関係者会」を実施し、出されたアイデアなどを元に、保育園・幼稚園と連携した歯科保健活動の拡充や、フッ化物洗口支援事業を新規に実施している。

全ての区民の方々が生涯おいしく楽しく食べ健康であることを目指して、今後、職域との連携も視野に入れ、各種関係団体にご協力いただきながら取り組みを行っていく。

## (4) 九州大学共同研究「小児の肥満に関する研究」について

九州大学共同研究「乳幼児期の肥満に関する研究」が公衆衛生学会で発表された旨の報告をする。

研究の目的は、幼児期の肥満は、学童期に移行することが多く、3歳児の肥満の要因を明らかにすること。方法は江戸川区の3歳児と1.6歳児の健診時の発育状況と生活習慣の関連性を検証し、「BMIリバウンド」者(BMI区分で1.6歳児健診は「やせ・普通」で、3歳児健診で「肥満」に分類された者)を対象として、解析した。そ

の結果、「よく噛むことができる」項目との関連性が示された。乳幼児期の摂食機能を促す食への早期介入が学童の肥満対策に役立つ可能性が考えられる。

## 6. 講評 <学識経験者>

各議事の内容に、それぞれ私なりのコメントを述べさせていただきたい。

「健康増進計画」進捗状況報告

着目すべきは、女性のやせ。若い人から高齢の方まで、全世代にやせが見られる。プレコンセプションや女性の健康、そして妊娠でも、適正体重が重要、課題である。生き生きけんこう塾の経過

アンケート結果から、効果としての成果が見られたのではないかと。区内各地で実施しているので、それを継続していくことが大切だと思う。

快適睡眠の取り組みについて

体系立った取り組みである。計画を持って実施をしている。

健康増進計画でも、睡眠の指標は重要になる。

職域との連携、企業の方々と一緒に取り組んでいることが、非常に重要で良い。

歯科保健施策の今年度の取り組みと進捗状況

歯科保健は、自治体間または社会経済的な理由で、特に乳幼児に差が出ることが多い。江戸川区でも、エリアや社会経済的なグループによって差があるだろうと想定される。何等かのグループの比較や時系列に見てみると、どういうところで取り組んでいけばいいのかが分かり、有効になるのではないかと思う。

九州大学共同研究「小児の肥満に関する研究」について

1歳半や3歳児の状況が肥満と関連性があることは、非常に興味深い。

噛めないという子どもが、どのような家庭状況なのか、お母さんやお父さんの食生活や社会経済的な理由とどう関係するのだろうか等、関心を持った。さらに研究を深めていただき、ぜひ今後お伺いしたい。

雑駁ではございますが、私の総括したコメントとさせていただきます。

## 7. 閉会

<所長あいさつ>

本日は長時間にわたり、ありがとうございます。

区の方から健康増進計画の進捗状況を報告し、皆様から、各種それぞれの団体の方の活動についてご報告いただいた。佐藤先生からの的確な講評をいただいたので、それについて庁内で持ち寄って、どのように活かしていくか考えてみたい。

本日は、どうもありがとうございました。引き続きどうぞよろしく願いいたします。

<司会>

これをもって本日の健康づくり推進協議会を閉会させていただきます。

委員の皆様、ご参加いただきまして、ありがとうございました。